

喫煙がお口に与える影響をご存じですか？

お口は、たばこの被害を最初に受ける器官です。たばこの煙や成分は、口の中に入ると粘膜や歯ぐきから吸収され、直接の刺激により様々な疾患を引き起こします。

中でも、喫煙者は歯周病にかかりやすく、歯の本数の低下につながることは多くの調査から報告されています。

喫煙がお口に与える影響について考えてみましょう。

喫煙がお口に与える影響



- 歯や歯ぐきへの着色（黄ばみ、黒ずみ）
- ヤニによる歯のざらつき
- 味覚の異常
- 口臭の増悪
- 歯周病の発症、悪化
- 口腔がんの発症

喫煙と歯周病の関係



歯石やヤニの付着

喫煙により、重症の歯周病に気付かず抜歯に至った例

- たばこの有害物質により、歯ぐきの抵抗力が低下し、歯周病が進行しやすくなる
- 有害物質は血管を収縮させるため、歯ぐきの腫れ、出血が現れにくく、歯周病が重症化するまで気付きにくい
- 喫煙者は治療の効果が出にくく、治りが悪い

禁煙と定期的な歯科健診で、大切な歯を守りましょう

さいたま市歯科口腔保健の推進に関する条例に、労働者が歯科保健指導等を受けることができるよう職場環境の整備に努めることが事業者の責務として定められています。

問い合わせ先 **さいたま市保健衛生局保健部保健衛生総務課**
電話 **048-829-1287**